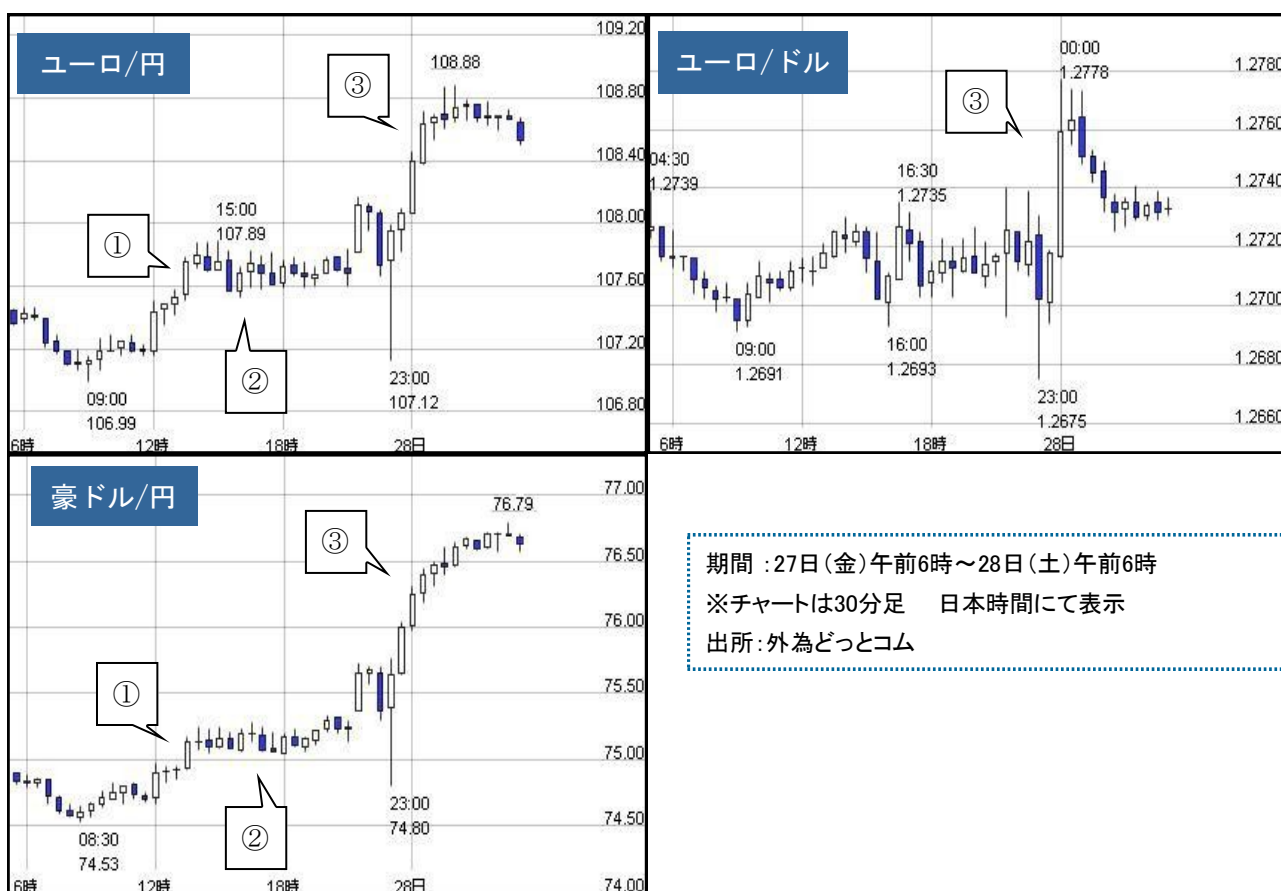


8月30日(月曜日)

ユーロ/円  
ユーロ/ドル  
豪ドル/円

## 日銀の追加緩和策に注目

### 27日(金)の主な推移



①

閣議後の記者会見で、本日中に菅首相が円高対処方針を表明すると発表されると、円高対策発表への期待感から円売り優勢となった。また、後場の日経平均株価がこの報道を受けて前日比でプラスに浮上し一時9000円の大台を回復すると、クロス円は一段高となり、ユーロ/円は107円台後半、豪ドル/円は75円台前半まで上昇した。

②

その後、17時過ぎに菅首相の記者会見の内容が伝わると、具体的な円高対策はなかったものの、同時に、米国出張中の白川日銀総裁が帰国次第、首相官邸で会談を行うと発表した事から、日銀による追加緩和観測が円の上昇に歯止めを掛ける事につながった事から、クロス円は高値圏でもみ合いとなった。

③

大幅な下方修正が見込まれていた米第2四半期国内総生産(GDP)・改定値は、前期比年率+1.6%と予想したほどには落ち込まなかった。さらに米連邦準備制度理事会(FRB)のバーナンキ議長が講演で、「必要に応じて追加の金融緩和を行う用意がある」と述べたことを好感して、NYダウ平均が大幅高となると、ドルや円を売って、ユーロや豪ドルを買う動きが強まった。また、一部報道で、「日銀が週明けにも追加金融緩和を検討」と伝えられたことも円売り材料となり、ユーロ/円は108.88円、豪ドル/円は76.79円の高値を付けた。

巻末の特記事項を必ずお読みください。

### ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)

### 豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

### 本日の見通し

#### 本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.2650-1.2830ドル  
ユーロ/円: 107.80-109.80円

#### 本日の予想レンジ

豪ドル/円: 76.00-78.30円

先週末からの報道を受けて、本日の日銀による追加緩和はある程度織り込み済みとなっている。新型オペの10兆円増額程度の追加策では市場が納得しない可能性があり、それ以上の追加緩和があるのかどうかが目される。ユーロ/円は30日朝の取引で既に109円台に上昇しており、事前予想程度の追加緩和では、株価は伸び悩み、クロス円は反落となる可能性もある。14時30分から予定されている白川日銀総裁の会見で、バーナンキ米FRB議長同様、さらなる追加緩和への姿勢を示すのかどうかにも注目される。(神田)

日銀は本日午前9時から臨時の金融政策決定会合を開催すると発表している。追加金融緩和策が発表される見通しであり、資金供給オペの拡充などが検討されている模様だ。ただ、豪ドル/円は、既に日銀の追加緩和を織り込む形で、77円台に上昇しており、思い切った追加策が発表されなければ、材料出尽くし感から一旦反落に向かう事も考えられる。日銀の発表を受けた日経平均株価の反応にも注目であろう。(神田)

### 本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
8/30(月)	21:30		(米)7月個人所得 [前月比]	± 0.0%	+0.3%
	21:30		(米)7月個人支出 [前月比]	± 0.0%	+0.3%
	21:30		(米)7月PCEコア・デフレーター [前年比]	1.4%	1.4%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com